

12/8 タイアップ！町子ども会×熊本西高校eスポーツ部×町ジュニアリーダー 菊陽町子ども会大会eスポーツ大会

町子ども会が、図書館ホールでeスポーツ大会を開催しました。本大会は、熊本西高校eスポーツ部と町ジュニアリーダーが運営を担当し、約40人が参加しました。

「ぷよぷよeスポーツ」は、1対1のトーナメント形式で進行。熊本西高校eスポーツ部によるゲーム実況の下、手に汗握る接戦が続き、決勝戦では緑陽台子ども会の岩下友希乃さんが見事な連鎖技を決めて優勝しました。また、会場の一角に「UDe-スポーツ(ユニバーサルデザインeスポーツ)」の体験コーナーも併設。簡単な操作で誰もが楽しめるイベントとして、多くの人に喜ばれました。

本大会は、子どもたち自身が主体となり、大人や高校生と協力して成功させた地域の新たな交流の場となりました。また、eスポーツの楽しさを広める大きな一歩となりました。



熊本西高校eスポーツ部と町ジュニアリーダー



ぷよぷよeスポーツの試合の様子



UDe-スポーツを体験する子どもたち

12/16 台湾の軽食「湯圓」を寄贈 TSMCチャリティー財団などと高齢者が交流

TSMCチャリティー財団と、台湾の食品メーカーの桂冠実業から、台湾の伝統的な軽食である湯圓の寄贈を受けました。

寄贈式には、各団体の代表者のほか、町在住の高齢者も参加し、吉本町長から各団体に感謝状を手渡しました。

湯圓は、あんこが入った、日本の白玉に近い食べ物。台湾では冬至の定番で、冬至の日に家族が丸いテーブルを囲い湯圓を食べることが、縁起の良いことだとされています。

寄贈式後の試食会では、参加者が黒ごま味とピーナッツ味の湯圓を試食。初めて湯圓を食べたという参加者の1人は「甘くておいしい。ごまの香りがいい」と笑顔で感想を述べました。

また、桂冠実業から、台湾の冬至や湯圓に関するクイズが高齢者に出題され、台湾の食文化を通じて交流を深めました。



1. TSMCチャリティー財団、桂冠実業、JAS、町の関係者
2. クイズに正解した参加者に湯圓が贈られた
3. 振舞われた湯圓

12/21 ホクホクの焼き芋ができた！ ネイチャーゲームとホクホク焼き芋づくり

ふれあいの森公園で開催し、町内の小学生と保護者6組13人が参加しました。火を起こし、ホイルに巻いたさつまいもを熾火の中に入れ、焼き上がるまで学生ボランティアの進行による自然体験プログラムのネイチャーゲームを楽しみました。

参加した受講生は「火起こしなどの貴重な体験ができ、親子で楽しめた。焼き芋もすごくおいしかった」と感想を述べました。



ファイヤースターターで火起こしをする参加者

11/30～12/1 チーム力アップ！ ジュニアリーダー野外体験活動

町ジュニアリーダーが美里町で野外体験活動を行いました。

1日目はフォレストアドベンチャーでチームビルディングプログラムを体験し、与えられた課題を全員で協力し解決。昼食はピザ窯でオリジナルピザを焼き、午後はレクリエーション進行役と五右衛門風呂も体験しました。

2日目は、日本一の石段3,333段を登り、展望台から眼下に広がる色鮮やかな秋の景色と、自分たちで作った弁当のおいしさの感動を共有しました。

2日間、食事を自分たちで作ることで、食への感謝や大変さも体験し、チーム力をさらに高めたジュニアリーダー。参加者の1人は「集団行動の大切さや、誰かに寄り添う心、周りを見て学ぶ姿勢、また初めてのことにチャレンジする楽しさを体験できた」と感想を述べました。



1. 3,333段を全員でゴール！
2. 協力してカレー作り
3. 高さ15mからダイブ！

12/5 アジア選手権で金メダル トレイルランニング国別団体優勝

第1回アジア太平洋トレイルランニング選手権に出場した森本幸司さん(駅前)が、町を表敬訪問しました。

森本さんは、約40分で競うショートトレイルに出場。個人11位の力走で、国別団体金メダルに貢献しました。

翌月には台湾のレースにも出場し、個人の部で優勝した森本さん。「日本代表は一区切り」とのことですが、2月の熊本城マラソン、国内のトレイルランニング大会に出場予定など、今後も活躍が期待されます。



金メダルをかけ、笑顔で結果を報告した森本さん(中央)

12/4 国際社会での活躍を期待 全国中学校英語弁論大会に出場

菊陽中学校2年生の工藤りんさん(馬場)が、県代表として高円宮杯第76回全日本中学校英語弁論大会に出場したことを、吉本町長に報告しました。

幼少期から英語に慣れ親しんできた工藤さんは、大会で発表した弁論「Show Your Big Smile」を力強く披露。「今後は、日本のすばらしさを菊陽町から世界へ発信できる人間になれるように努力を続けたい」と語りました。



工藤さん(右から2番目)の今後の活躍にエールを送った

ひらなか ゆき
平中 結希さん
令和4年2月22日生まれ(武6町内)
笑顔がかわいい結希さん。話す言葉が少しずつ増えてきました。とても活動的で元気な男の子です。

Happy Birthday

ぼくのわたしの
誕生日

光の森武蔵ヶ丘保育園

やまと あやめ
大和 采愛さん
令和5年2月4日生まれ(津久礼ヶ丘)
あいさつが上手な采愛さん。みんなが登園してくると、近くに行くとすてきな笑顔であいさつしてくれます。

12/28～29 B.LEAGUE2024-25シーズン 熊本ヴォルターズホームゲーム

プロバスケットボールチーム熊本ヴォルターズのホームゲームが、総合体育館で開催されました。町が冠スポンサーとなった今回のホームゲーム。オープニングに登場した町PR大使の菊陽武蔵剣豪太鼓が、勇ましい演奏により会場の雰囲気盛り上げ、ヴォルターズへ戦う力を与えました。また、前座試合として、菊陽中学校と武蔵ヶ丘中学校の対抗戦が行われ、生徒たちはプロの会場での試合を楽しみながら元気よくプレーしました。試合終了後は、MVPとMIPのヴォルターズ選手へ町特産品を贈呈するなど、菊陽町づくりのホームゲームとなりました。



あいさつをする吉本町長



ぼろたん・キャロッピー・くまモンの3ショット



前座試合をする菊陽中学校と武蔵ヶ丘中学校のバスケットボール部員



ドリブルをするヴォルターズの選手



演奏を披露する菊陽武蔵剣豪太鼓



シュートをするヴォルターズの選手

1/6 共に成長するアーバンスポーツの「聖地」へ スケートボード女子松本雪聖選手と意見交換

スケートボード女子の松本雪聖選手が町を訪問し、吉本町長と、令和8年度開業予定のアーバンスポーツ施設に関する意見交換を行いました。松本選手は、氷川町在住の中学1年生。令和5年に競技団体ワールドスケートジャパン(WSJ)の強化指定選手に選出されました。令和6年10月には日本選手権で4位の成績を残し、世界大会にも出場するなど、世界から注目される選手です。

今回、町から松本選手へ令和8年度開業予定のアーバンスポーツ施設やその周辺のまちづくりに



吉本町長(左)と松本さん(右)

ついて説明。吉本町長から「松本選手にこの施設を本拠地として利用してもらい、全国大会や世界大会、オリンピックに向けて共に成長できる施設にしていきたい」とエールを送りました。松本選手は「熊本でも、全国大会や世界大会のように強豪選手と一緒に練習したい。みんなが楽しく滑れるパークにしてほしい」と期待の声を寄せました。

町では、施設の整備や運営管理の準備を進めながら、引き続き県と連携し、アーバンスポーツの機運醸成やイベント・大会誘致などに取り組んでいきます。



実際の競技者である松本さんやその家族と意見を交わした

12/27 子どもたちへ夢を プロ野球選手によるトークショー

村上宗隆選手をはじめとするプロ野球選手のトークショーを、図書館ホールで行いました。来場者は約450人。夢に向かって頑張る町内野球チームの子どもたちも参加し、近くで見る憧れのプロ野球選手に目を輝かせました。

トークを披露してくれたのは、村上宗隆選手(東京ヤクルトスワローズ・熊本県出身)、吉野光樹選手(横浜DeNAベイスターズ・菊陽町出身)、荒木雅博さん(元中日ドラゴンズ・菊陽町出身)、吉本亮さん(元福岡ソフトバンクホークス・熊本県出身)の4人。T K Uテレビ熊本の後藤祐太アナウンサー進行のもと、約1時間、高校時代の思い出やプロでの経験などを語りました。

現役選手の2人が口を揃えて語ったのは「少なくともいいから継続すること」の大切さ。「特別なことより、毎日できることを工夫してやる。少なくともいいから継続できれば、それが自信になる」というメッセージを子どもたちへ贈りました。

トークショーの後は、4選手のサイン入りボールが当たるプレゼント企画を実施。当選した10人には選手から直接ボールが手渡され、握手を交わすなど、貴重な時間を楽しみました。

熊本大津リトルシニア所属でヤクルトファンだという柴田雄斗さん(新山)は、サインボールをうれしそうに見つめながら「選手と会えてうれしかった。素振りは回数を決めてするのではなく、時間を決めて1回1回集中してする」と話が勉強になった」と話しました。

最後は、子どもたちが所属しているチームごとに分かれて、選手との記念撮影。笑顔いっぱいのトークショーとなりました。



村上宗隆選手



笑顔でトークする出演者たち



トークを楽しむ子どもたち



吉野選手からサインボールのプレゼント



選手と一緒に記念撮影

吉野光樹選手を町PR大使に任命しました

総合政策課 企画政策係 ☎(232)2112

令和6年12月27日(金)、スポーツ振興など菊陽町を幅広くPRし地域を活性化するため、町出身でプロ野球選手の吉野光樹選手(横浜DeNAベイスターズ所属)を町PR大使に任命しました。

吉野選手は、令和4年にドラフト2位指名で横浜DeNAベイスターズに入団し、令和6年8月23日の東京ヤクルトスワローズ戦に先発登板し、プロ初勝利を挙げました。任命式で、吉野選手は「年間を通して、先発ローテーションに入り続けたい。2ケタ勝利を目標に頑張りたい」と意気込みを語りました。



詳しくはこちら



吉野選手(左)と吉本町長(右)